

環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
キックオフミーティング発表資料

活動団体名：一般社団法人サステナビリティセンター
活動地域：南三陸町

活動におけるテーマ

**地域経済循環と地域人材育成の
リンク（連鎖）**

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

◆私たちの町は、「森里海ひといのちめぐ
るまち」を実現し、持続可能なまちづくり
のトップランナーを目指します。

- ・世界中から人々が循環型の復興モデルを学びに来る町。
- ・経済自治、エネルギー自治、地域自治が浸透している町。

地域の現状と課題

地域の現状

- ◎活動地域の概要
 - ・志津川湾を囲む町域と流域がほぼ一致する三陸沿岸の町
- ◎活動地域の特性（強み・弱み）
 - ・森里海のプレイヤーの存在
 - ・復興特需の終焉と経済流出
- ◎活動地域にある地域資源
 - ・FSC®認証林（県内初）
 - ・ASC認証カキ養殖場（国内初）
 - ・南三陸BIO（生ゴミ処理）
 - ・南三陸ネイチャーセンター
 - ・めぐりん米、無農薬ササニシキ
 - ・バイオマス産業都市構想
 - ・地域おこし協力隊（起業家募集）

課題

- ◎現状から考える地域の課題
 - ・復興特需後の地域経済
- ◎今後取り組むべき課題
 - ・いのちめぐる町であることが地域経済の活性化にも有効であるような仕組み作り（南三陸ブランド）
- ◎課題の中で地域循環共生圏を活用し、解決しようと考えている課題
 - ・地域経済循環の仕掛けの一つとして、地域のものが売れば売れるほど、人材育成や環境保全にお金が回る仕組みをつくる。

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

- ◆アイデア：ラムサール基金（仮称）
寄付付き商品とローカル認証の組み合わせ
- ◆人：町内事業者、基金設置者、消費者
人材育成プログラム提供者、、、
- ◆アプローチ：商品・サービスの売り上げに対する一定割合の寄付を取り入れていただくことで、南三陸ブランドとしての価値を高める
- ◆プロセス：基金の設計、認証の仕組み検討、使途の検討
- ◆仕組み：南三陸ブランドの目指す姿の見える化と基金設置による地域経済循環の仕組み作り

今後の事業取り組み予定

- ◆いのちめぐるまち推進協議会の枠組みを活かし、基金事業のあり方について検討・決定する。
- ◆仕組みを作ったら、多くの事業者の参加を促すプロモーションを行う。
- ◆地域産品・サービス購買者が共感できる人材育成・環境保全メニューをそろえ、実施する。
- ◆町外との協働／連携をどのようにしていくべきかについては、課題がある。

スケジュール（令和元年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング				現地意見交換会		◇中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◇		◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの策定				◇基金事業の検討 ・南三陸ブランドのあり方（ローカル認証？） ・寄付金活用法の具体化 ・認証ロゴの制作 ・基金造成先との相談・交渉								
ステークホルダーの巻き込み								◇地域事業者への周知 ・パンフレット等の制作 ・地域事業者への説明 ・行政との協調				
								◇人材育成事業者等との連携 ・育成プログラムの開発 ・実施主体の枠組み検討				